

# 藩の誕生から激動の幕末維新まで 中国地域の藩と人々の盛衰のドラマ

単行本、モノクロ  
271ページ、B6判  
発売：2014年11月

1,600円+税



中国総研  
地域再発見  
BOOKS  
⑤



## 中国地域の 藩と人

地域を支えた人びと

江戸時代、徳川政権を支えたのは、全国の三〇〇余の「藩」であった。中国地域にも多くの藩が存在し、財政改革、殖産興業に努めた名君や実力者が生まれ、独自の藩風や文化を築いた。その藩の気風や藩民意識は、いまでもこの地域に引き継がれている。藩の誕生から激動の幕末維新まで、中国地域の藩と人々の盛衰のドラマを探る。

公益社団法人 中国地方総合研究センター 編

中国地方総合研究センター

江戸時代、徳川政権を支えたのは、全国の300余の「藩」であった。中国地域にも多くの藩が存在し、財政改革、殖産興業に努めた名君や実力者が生まれ、独自の藩風や文化を築いた。その藩風はいまも県民意識に引き継がれている。

藩の誕生から激動の幕末維新まで、中国地域の藩と人々の盛衰のドラマを探る。

### 内 容

#### 第1章 「『藩』とは何か」

- 第1節 「幕藩体制と藩の特質」
- 第2節 「中国地域の藩の盛衰の物語」

#### 第2章 「名君たちの偉業、時代を動かした実力者たち」

- 第1節 「名君たちの偉業」
- 第2節 「時代を動かした実力者たち」

#### 第3章 「各分野で藩と領国を支えた人たち」

- 第1節 「江戸期の官僚と専門家」
- 第2節 「地域を支えた産業と人」
- 第3節 「夫や子どもを支えた女性の力」

#### 第4章 「歴史を創った藩校と私塾」

- 第1節 「特色ある藩校」
- 第2節 「歴史を動かした私塾」

#### 第5章 「幕末維新と長州藩の群像」

- 第1節 「誤解の中にあつた長州藩の幕末維新史」
- 第2節 「吉田松陰」
- 第3節 「長井雅楽」
- 第4節 「周布政之助」

発売中

# 「海」の交流

古代から近世までの瀬戸内海・日本海

1,400円+税



グローバルな交流が本格化するなかで、もう一度海の視点から日本の歴史を振り返り、瀬戸内海と日本海に囲まれた中国地域の歴史的意義を再評価するとともに、海の魅力や可能性を浮き彫りにする。第1章海と日本列島として邪馬台国など、第2章瀬戸内海の交流として朝鮮通信使、西廻り航路、瀬戸内海海運、第3章日本海の交流として銀の道、日本海海運などを取り上げている。現代社会における海の可能性について考える。

【単行本、モノクロ、260ページ、B6判】  
発売：2012年12月

## 内容

- 「海と日本列島」(森浩一、同志社大学名誉教授)
- 「瀬戸内と平清盛の夢」(元木泰雄、京都大学大学院教授)
- 「厳島神社と平清盛」(三浦正幸、広島大学大学院教授)
- 「毛利水軍の育成と瀬戸内海海賊の終焉」(宇田川武久、国立歴史民俗博物館名誉教授)
- 「戦国武将たちの瀬戸内海」(童門冬二、作家)
- 「朝鮮通信使と世界的港町、鞆」(毛利和雄、元NHK解説委員)
- 「瀬戸内海の魅力を「外」から見る」(フック・カロリン、広島大学大学院准教授)
- 「中世日本海の海運と交流」(井上寛司、島根大学名誉教授)
- 「世界に広がる銀の道」(仲野義文、石見銀山資料館館長)

発売中

# よみがえる建築遺産

新たな生命を吹き込まれたレトロ建築の魅力 1,800円+税



従来の「文化財」が凍結保存され、文化や観光振興面で活用されるのに対し、「建築遺産」を修復し用途変更することで新たな価値を創造する行為は、それに加え、芸術文化創造、中心市街地活性化、商業振興面での役割や可能性を有している。建築遺産を再生することで、現代に活用している事例を紹介し、今後の可能性を考える。

【単行本、カラー、299ページ、B6判】  
発売：2013年6月

## 内容

- 第一部「歴史的建造物の保存・活用」(足立祐司、神戸大学教授)
- 第二部「中国地域のよみがえる建築遺産」(岡山編) 倉敷アイビースクエア、ルネスホール、犬島精練所美術館、西爽亭(広島編) 広島アンデルセン、恋しき、ソットスタツツイオーネ、広島市郷土資料館、広島市水道資料館、ぎやらい宮郷、おのみち歴史博物館、尾道商業会議所記念館、【コラム】原爆に耐えた建築遺産(山口編) 山口市菜香亭、田中絹代ぶんか館、ヒストリア宇部、クリエイティブ・スペース
- ス赤れんが、下関市南部郵便局、柳井市町並み資料館、山口銀行旧本店(やまぎん史料館)、旧日下医院、木暮実千代顕彰室
- (島根編) カラコロ工房、石見銀山のなかむら館と古民家群、かげやま呉服店、美保関灯台ビュッフェ、震湯ギャラリー・カフェ内蔵蔵、ごうぎんカラコロ美術館、【コラム】新たな活用を待つ興雲閣
- (鳥取編) 玉川治の白壁土蔵群、米子市の中心市街地、五蔵園ビル、【コラム】再生を待つ米子市公会堂

発売中

# 「道」の文化史

街道が育んだ豊かな歴史

1,400円+税



道は人や獣が生きていくために山や平野を行ったり来たりして踏み固めることよってできていった。古代律令国家が成立すると、中央と各地を結ぶため道が整備され七道が定められた。中でも山陽道は最も重要な道であり、中国山地には網の目のように小路が造られた。やがて時代とともに道は産業を生み文化や信仰を育み、歴史の舞台となった。中国地域の道の姿をたどることは、この地域の歴史を理解する上できわめて重要な意味を持っている。

【単行本、モノクロ、266ページ、B6判】  
発売：2013年12月

## 内容

- 「日本の道の歴史」(神崎宣武)
- 「道と文化、産業の発達」(神崎宣武)
- 「古代の交通路」(中村太一)
- 「中世の交通路」(藤原良章)
- 「近世の交通路」(山本光正)
- 「中国地域の道」
- ・都市と地方を結ぶ道(神崎宣武)～山陽道、山陰道
- ・参勤交代の道～智頭往来、出雲街道、浜田広島街道、萩往還
- ・城下町を核とした道～但馬往来、若桜街道、鹿野往来、津山往来、鴨方往来、赤間関街道
- ・産業を支えた道～八橋往来、石見銀山街道、吹屋往来、山代街道
- ・食文化をもたらした道～ワニの道
- ・歴史のうねりを伝える道～若桜街道、萩往還、近代夜明けの道と四境戦争
- ・信仰の道(神崎宣武)～信仰の道、大山道、金毘羅往来、出雲街道

発売中

# 鉄道探見

鉄道の歴史とその魅力

1,700円+税



鉄道は人や貨物を運ぶ手段であるとともに地域経済や文化の発展をもたらしてきた。また路線とその沿線は人々を引き付ける地域の財産ともなっている。さまざまな路線網が明治以来構築されてきた過程で地域がどのように変貌してきたのか、各路線はどんな魅力を持っているのかを知ることが、鉄道路線と鉄道遺産の今後の活用や地域の魅力向上にもつながる。

【単行本、モノクロ、306ページ、B6判】  
発売：2014年9月

## 内容

- 「鉄道と社会」(石井幸孝、JR九州初代社長、会長)
- 「山陽鉄道の敷設」(長船友則、鉄道研究者)
- 「軍事的背景で敷設された路線とその後」(三宅俊彦、鉄道史研究者)
- 「産業の発達と資材輸送のための鉄道」(松永和生、鉄道友の会中国支部長)
- 「魅力的な駅舎のデザイン」(杉崎行恭、鉄道フォトライター)
- 「鉄道路線の変遷をたどる」(今尾恵介、鉄道・地形図研究者)
- 「文学に描かれた中国地方の鉄道」(原口隆行、鉄道研究者)
- 「都会の足となる路面電車～岡山電気軌道～」(岡将男、公共交通 RACDA 会長)
- 「都会の足となる路面電車～広島電鉄～」(加藤一孝、広島市子ども文化科学館元館長)
- 「最新システムで運行する新たな路線」(河野俊輔、鉄道友の会中国支部事務局長)
- 「可部線廃線区間と今福線未成線区間を歩く」(森口誠之、鉄道研究者)
- 「備後地域を走った民営鉄道」(浦田博、広島大学大学院特任助教)
- 「人々を引き付ける異色の駅舎」(江藤浩文、中国地方総合研究センター主任研究員)
- 「若桜鉄道のダイナミズム」(米山淳一、日本鉄道保存協会事務局長)
- 「レールバイク先進国韓国の鉄道線路利用」(秋田紀之、中国地方総合研究センター主任研究員)
- 「廃止路線と廃止車両を生かした地域活動」(浜中裕史、ふるさと鉄道保存協会広報担当理事) 他

### 中国総研・地域再発見 BOOKS 【ご購入申込書】

第1刊 「海」の交流	ご購入部数 ( ) 部	第2刊 よみがえる建築遺産	ご購入部数 ( ) 部
第3刊 「道」の文化史	ご購入部数 ( ) 部	第4刊 鉄道探見	ご購入部数 ( ) 部
第5刊 藩と人	ご購入部数 ( ) 部		

お届け先	〒	ご住所	
		お名前	TEL ( )

※ご購入を希望される方は上枠内に必要事項をご記入のうえ、申込書をFAXまたはメールでお送りください。

〒730-0041 広島市中区小町4-33 公益社団法人中国地方総合研究センター 中国総研・地域再発見 BOOKS 編集部 行  
TEL: 082-245-7900 FAX: 082-245-7629 mail: crcc@crcc.or.jp ※代金のお支払い方法については、冊子お届け時にご案内いたします。